

JAL の中期戦略

安全運航体制の堅持

グローバルエアラインを目指す

国際旅客：主力路線である太平洋線、欧州線で利益を出す

国内旅客：中・近距離の旅客移動を SURFACE から AIR に誘導する

国際貨物：比較的低いレート^①の貨物でも利益が出せる

整備カンパニーの中期戦略

人材の育成

[JAL 戦略との関係] 安全運航体制の堅持、グローバルエアライン

[整備カンパニーの目標] 技術の伝承、自立的マネジメント

グローバル人材の育成（舞台は外へ、そして世界へ）

世界一高品質な機材の提供

[JAL 戦略との関係] 高い競争力、高いレート^①の確保

[整備カンパニーの目標] 安心、快適なフライトの提供、高い定時到着率の達成

欧米先進エアライン並みのコスト競争力の達成

[JAL 戦略との関係] 欧米先進エアライン並みのコスト水準を達成

[整備カンパニーの目標] 業務品質向上、機材品質向上によるコストの削減

受託業務拡大による JAL コストの削減

財務体質の改善

戦略に基づく 2000 年度の主要な取組み目標

グループ 整備会社の早期自立達成

大量出向の円滑な実施

認定事業場免許の早期取得

グループ 会社再編の円滑な実施

グループ 会社整備員の技量向上

新検査制度、新整備員制度の早期定着化

技術力の向上と Know-how の蓄積

エアラインとしての技術力、Know-how の活用

Cabin Interior Design の重視

業務品質の向上(全職種対象):Business Process Reengineering

<業務品質向上20%⇒整備コスト削減20%;TAT短縮20%>

[組織再構築(2000年4月1日)]

FLATな組織の実現

責任・権限の委譲---自律的組織運営

コミュニケーションコスト低減---調整業務の極小化

働き甲斐の追求

[個別業務の再構築]

規定の遵守

委託管理の再構築(←グループ会社の認定事業場認可取得)

故障原因探求迅速化

情報公開、情報共有化による品質の底上げ

[“不文律”の見直し]

マネジメント能力の発揮(自立的マネジメントの確立)

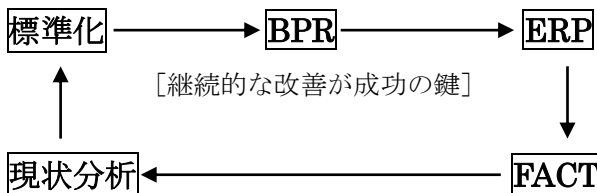
創造性、柔軟性の発揮(習慣、横並び意識に囚われない)

[仕組みの見直し]

EMA改訂(=社内規制の合理化)

ERP(Enterprise Resource Planning)の導入準備

Information Technologyの活用



受託業務拡大<CW受託比率30%/4年間>

Business Development 推進(戦略的提携)

FAR、JARへの適合(グローバルな整備ビジネスを志向)

財務体質の改善

サプライチェーンマネジメントの導入(部品事業部、エンジン事業部)

「最適調達・最適生産・最適在庫」

在庫実態適正化: Recovery 部品の適正評価、無価値部品の償却

施設・設備利用効率の向上